

4月から
新しい大山口診療所
として診療開始

大山口診療所と
大山口リハビリセンターを統合



▲ 順調に工事が進む新しい『大山口診療所』

昨年10月から、保健福祉センターだいの駐車場の隣接地で、両施設の統合に向けた工事を行っており、この4月から新しい『大山口診療所』として診療業務を始めます。

診療科目は、これまでどおり内科、神経内科、消化器科、心療内科、リハビリテーション科で、久野宣年医師と久野淑枝医師が診察にあたります。

なお、3月16日(月)から3月21日(土)まで、工事の都合により大山口リハビリセンターを休診にする予定です。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご了承ください。

妻木晩田遺跡に

「弥生の国邑」が甦ります！

～新しいビジター施設も来春オープンに向けて着工しました～



来春完成の新ビジター施設

国史跡「妻木晩田遺跡」では、平成23年度の完成を目指して、現在、史跡整備事業を進めています。

この中で、妻木山地区には、平成22年度までかけて高床建物、竪穴住居をあわせて12棟復元して、妻木晩田のむらガもつとも栄えていた頃のよつすを再現することにしています。この春、まず高床建物4棟が竣工しました。

また、現在の事務所棟の横に、お客さまをお迎えする新たなビジター棟「中央ガイダンス(仮称)」もこのほど着工しました。



新たに竣工した妻木山地区の高床建物

県産材をふんだんに用いた木の香あふれる施設で、床面積750㎡。小学校2クラス分に対応した体験学習室や新たな展示室などを備えていて、こちらは来年4月にオープンの予定です。

あわせて、現在の事務所棟は、遺跡の調査研究に特化した施設に改修しますが、こちらの施設も発掘調査の出土品を整理する作業のよつすを見学したり、考古学に関するさまざまな本を閲覧したりできるようにします。

新年度は、こうした史跡整備の進捗にあわせて、イベントもますます充実します。これから大きく変化する妻木晩田遺跡へ、ぜひお出かけください。【妻木晩田遺跡事務所】